

平成30年第2回筑紫野市教育委員会定例会

○日 時

平成30年2月22日（木）午前10時01分から午前11時32分

○場 所

筑紫野市役所 第9会議室

○出席委員（5名）

教 育 長	上 野 二三夫	教 育 委 員	近 本 明
教 育 委 員	潮 見 眞千子	教 育 委 員	田 代 邦 夫
教 育 委 員	西 村 幸 子		

○欠席委員（0名）

○出席説明員（7名）

教 育 部 長	熊 手 寛 明	教 育 政 策 課 長	森 敬
学 校 教 育 課 長	柴 田 昭 雄	学 校 給 食 課 長	尾 花 和 美
生 涯 学 習 課 長	長 澤 龍 彦	文 化 情 報 発 信 課 長	宮 原 博 揮
社 会 教 育 主 事	砥 綿 麻 衣		

○出席事務局職員（1名）

教 育 政 策 課 庶 務 担 当 係 長	葉 山 順 子
--------------------------	---------

○議 事 日 程

1. 教育委員会会議録の承認について
平成30年第1回筑紫野市教育委員会会議録（平成30年1月25日開催）
2. 教育長の報告について
3. 報告第1号 平成30年度学校給食費について
4. 報告第2号 平成30年度学校給食実施について
5. 議案第3号 平成29年度筑紫野市一般会計補正予算（第7号）教育費について
6. 議案第4号 平成30年度筑紫野市一般会計予算教育費について
7. 議案第5号 平成30年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計予算について
8. 議案第6号 筑紫野市奨学生の選考について
9. 各課等の報告について
10. その他

会議録

○教育長：平成30年第2回筑紫野市教育委員会定例会を開会いたします。

では、議事日程の順序に従い、会議を進めてまいります。なお、発言は議長の許可を得た後にお願いをいたします。

日程第1、教育委員会会議録の承認の件

平成30年1月25日開催の平成30年第1回筑紫野市教育委員会会議録について、承認することに御異議はありませんでしょうか。

○（特になし）

○教育長：御異議なしと認めます。よって、本件については承認をされました。

日程第2、教育長の報告の件

・校長会について

（雪による学校の対応について、初任者の研修について、特別支援教育及び通級指導教室の充実について、児童・生徒理解に基づく指導について）

・管内教育長会について

（全国体力・運動能力の件、特別支援教育について、給食・食育支援訪問の件について、危機管理について、第2回福岡地区不祥事防止対策推進委員会について、福岡地区学力向上推進委員会について）

・今後の予定について

日程第3、報告第1号、平成30年度学校給食費についての件

○学校給食課長：（議案説明）

○西村教育委員：前回、値上げが3年前か4年前ぐらいでした。そのころから比べて、現在の食品の価格というのは随分高騰していると思います。昨年度からの天候不順などで一般家庭でも大分厳しい状況にはなっているところですが、今年はどうにか乗り切れても来年がというようになっていくと心配します。段階的な値上げもいたし方ないというところと、家庭に対する負担が大きければ、公費の補助を考えていくというのも考えます。

○学校教育課長：検討させていただきます。

○近本教育委員：残菜はどうですか。

○学校給食課長：学校のほうへ残菜のアンケートを昨年の11月頃に行い、2月に取りまとめをしたものを学校の方へ報告をしています。各学校、回数など異なりますが、それぞれに日常的に取

り組みをしています。また、農業体験などに取り組んでいる学校もあり、そういうことも頻繁に
してもらえればと思っています。先生たちの意識も高いので、日常的に子どもに指導しています。

○西村教育委員：先日、筑紫野市の給食担当の先生と話すことがあったのですが、先生も生徒さんもすごく意欲的で、残菜ゼロを目指して頑張っていますという力強い言葉もありましたので、とても食育が進んでいると思います。

○教育長：残菜アンケートについては、3月の教育委員会で資料を提出してもらえますか。

○学校教育課長：はい。3月の教育委員会上に資料をお出しします。

○近本教育委員：残菜と生徒指導は大体つながります。残菜の多いところは、生徒指導のほうから生徒を指導していかないといけません。乱れたら、残菜が多くなるのです。残菜が多い少ないとか、そういうところに気をつけてもらいたい。

○教育長：それでは質疑を打ち切りたいと思います。本件を承認することに御異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：御異議なしと認めます。よって、本件については議案どおり承認をされました。

日程第4、報告第2号、平成30年度学校給食の実施についての件

○学校給食課長：（議案説明）

○教育長：大きく変わったところはないですか。実施回数も昨年同様、190回ということですか。

○学校教育課長：はい、昨年同様です。

○教育長：平成30年度も給食訪問にも行っていただくとお思いますので、よろしくお願ひします。
それでは質疑を打ち切りたいと思います。本件を承認することに御異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：では、打ち切ります。この件につきまして御異議なしと認めます。よって、本件については議案のとおり承認されました。

日程第5、議題第3号、平成29年度筑紫野市一般会計補正予算（第7号）教育費についての件

○教育政策課長：（議案提案）

○教育長：本件を承認することに御異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：では、打ち切ります。この件につきまして御異議なしと認めます。よって、本件については議案のとおり承認されました。

日程第6、議題第4号、平成30年度筑紫野市一般会計補正予算教育費についての件

○教育政策課長：（議案説明）

○学校教育課長：（議案説明）

○学校給食課長：（議案説明）

○近本教育委員：給食センターにはいろいろな器具があり、故障等することがあると思います。その時に、業者に頼めば期間が長くかかることがあるだろうから、それこそ陰で誰も気がつかないようにして、職員で修理したり骨を折ったりしています。そういう実態は確かにあると思います。機械に詳しい人たちが、業者に頼まないで自分たちでしています。そういう人たちが生涯学習センターにもおられます。いろんなところで、陰で支えてきている人たち、そういう人をできるだけ把握して、教育長のほうに報告することで、総体として施設設備も管理し、総体として人間関係をつくり上げていくという視点で、課長さんたちも見てほしいと思います。そうすると、より効率的に物事が運ぶと思います。

○潮見教育委員：予算とは関係ないことですが、去年、学校給食に私たちが訪問したときに、最近給食センターの見学に子どもたちが行ってないということを知りました。今、洗浄機とかいろんな機械があり、こういう流れでこれだけの人が動いて調理していることを子どもたちに見せたら、食に対する意識、給食に対する意識が変わると思います。その辺を進めたらどうかと思いました。

○学校給食課長：学校からの訪問は現在、小学校が1校しています。それと、給食のDVDがあり、学校にDVDを貸し出して、調理の状況などを見ていただくことは何校かしていますので、若干理解していただいていると思っています。

○教育長：できるだけ実際の眼で見てもらおうといいでしょう。

○潮見教育委員：実際の眼で見るとまた違うと思います。

○教育長：見ることは大事な教育です。できるところから少しやってもらおうといいです。

○潮見教育委員：本当にできるところから。

○生涯学習課長：（議案提案）

○文化情報発信課長：（議案提案）

○西村教育委員：五郎山古墳の説明文は、多言語化、多国化と説明されましたが、今、観光地とかの看板に、アプリやQRコードがあり、説明文が聞けたり、日本語も選べて聞けるとか、かなり簡単にツールとしてできるようですので、そういうところも考えていただいたほうがいいかと思っています。

○教育長：これから先は大事でしょう。

○西村教育委員：文を読むのはなかなかしないので、聞くほうが手軽でいいと思います。

○文化情報発信課長：参考にさせていただきます。国のほうでもそういう事業を進めている話は聞いていますので、事業実施に当たっては国と調整を図っていきます。

○西村教育委員：ICT活用とか、そろそろ本格的に見据えていかななくてはならない状況になっています。小学校の英語科の取り組みとかもありますので、予算をしっかり組んで、ICTや英語授業などへの活用を進めていただきたいと思います。

○教育長：本件は原案のとおり承認をされました。

日程第7、議題第5号、平成30年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計予算についての件

○学校教育課長：（議案提案）

○潮見教育委員：入学支度金を支払う時期は、いつになりますか。

○学校教育課長：3月中には支払いをします。4月に奨学金が出ますので、返していただくという形で、立てかえ制度を設けて、先に支払うという形にしています。

○近本教育委員：貧困と低学力の悪連鎖、これを我々は押さえておかないといけません。どのような連鎖反応が起きてくるかということ、貧困ゆえに教育を受けられなかった親もいます。今も子どもが貧困のために大学に行きたくても行かれない状況があります。高校に行きたくても行かれない。それをそのまま過ごしていくとどうなるかということ、学校に行っていないと低学力で、学力がついていません。学力がついていないと、就職試験やいろんな資格を取る試験のときにマイナスになります。資格が取れない、何が取れないと、次に何かということ、就職の中身にかかわってきます。学力がないから振り落とされます。そうすると、不安定な仕事につかざるを得ません。つかされるということになります。不安定な職業につくと、収入が思うように入りません。それが悪循環になるのです。

これを一つ考えておくということ、今、高校生、中学生が奨学資金貸与を受けるときに、どこに相談すればいいか、誰に相談すればいいかを、中学3年生で知らない生徒が多いです。どこに相談すればいいのか、誰に相談すればいいのか、相談された先生が知らない人もいます。ですから、家庭で苦労しているから奨学資金もらいたいというときに誰に相談すればいいか、道筋を各学校でつけておくことが必要と思います。先生がこういう書類があるよと言えます。その書類を父ちゃん、母ちゃんに渡せと言っても分かりません。わからないような書類を渡しても、もうめんどくさいということで、申請しないので奨学金をもらえません。それが悪循環につながっています。

ですから、筑紫野市で、教育委員会で、子どもたちにこういう奨学金があるが誰に相談すればいいかという道筋をつけて下さい。生徒会などと話し合い、この先生に聞けば大体わかると。書類はどういう書類で、書き方がわからない時はどの先生に相談すればいいか。父ちゃん、母ちゃ

んがわからなくても、そこに相談すればわかると。さっき、子どもの主体性という話が出ましたが、その主体性を培っていくという視点からもしていければと思います。そのあたりを1回、子どもがわかるように、校長会あたりと話すとういと思います。

○西村教育委員：中学校3年生になると、進路進学説明会という子どもが保護者と一緒に受ける説明会があったと思いますが、そういう中に必ずそういう項目を入れて説明すると親子で聞くことになると思います。そのときの保護者の出席率がとてもよくて、ふだんの参観とは違って、やはり進路進学となると保護者の参加率もいいので、そういうところで必ず項目をつくると、保護者と生徒、一緒に理解ができると思います。育英会とかのチラシは結構もらってくるのですが、筑紫野市独自というのはなかなかないので周知をお願いします。

○近本教育委員：易しい言葉で説明しないといけないでしょう。

○潮見教育委員：言葉が難しいです。

○近本教育委員：難しいです。

○教育長：本件を承認することに御異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：では、打ち切ります。この件につきまして御異議なしと認めます。よって、本件については議案のとおり承認されました。

○学校教育課長：休憩をお願いします。

○教育長：5分休憩します。20分から再開します。

————— . ————— . —————
休憩 午前11時15分

再開 午前11時16分
————— . ————— . —————

○教育長：それでは再開します。

議案第6号、筑紫野市奨学生の選考についての件

○学校教育課長：（議案説明）

○教育長：本件を承認することに御異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：では、打ち切ります。この件につきまして御異議なしと認めます。よって、本件については議案のとおり承認されました。

それでは、以上で本日の議事は終了いたしました。続きまして、各課等からの報告をいただきます。

○教育部長の報告

- ・議会の日程について

○教育政策課長の報告

- ・人権・同和問題講演会について

○学校教育課長の報告

- ・学校選択制の結果について

○学校給食課長の報告

- ・3月分の献立表について

○生涯学習課長の報告

- ・特になし

○文化情報発信課長の報告

- ・博物館の行事について
- ・企画展について
- ・福岡発ラジオ深夜便の放送予定について

○西村教育委員：入試前の給食の献立をカツカレーにした学校給食課のお気持ち、とても子どもたちは喜ぶと思います。しかし、公立高校を受ける子ばかりではないので、これからの進路や歩むところに勝っていこうという気持ちがありますということ、給食の前に一言何かどなたかを通じて、そういう給食センターの皆さんの気持ちを伝えていけたらいいと思います。

○田代教育委員：先月のこの委員会の中で、成人式の際のビデオレターの話がでましたが、今回議事録を読み、また思い出したのですが、ビデオレターに一人しか先生が出てない学校があり、逆にとても寂しい思いをしました。その後、思いましたが、10日ごろ卒業式があり、その後、2週間ぐらい日にちがあります。卒業させて肩の荷が下りるという気分と思いますが、その間に、5年後を見据えて、5年後をイメージして、そのときの学年の先生方が集まってビデオを撮っておくということはどうでしょうか。そういう気分にならないものでしょうか。そういうことをすると、全部の先生がまとまっていいと思いました。

○近本教育委員：それをするのはいいことですが、それまでの手順をよく踏まないといけません。手順を踏むということはどういうことかということ、卒業生が荒れているときは、担任の先生によっては頭から厳しく言う先生がいるでしょう。言わないといけないときもあるわけです。それを素直に受けとめきらずに、恨みつらみを持つ子どもがいます。そういう人たちがあっさりした人間ならいいけど、あんたがこうだったからだ、成人式を機会に仕返しをする、お礼参りをするという子がいるようです。ですから、そうならないように、そこまでの手順を踏むということも教育だけれども、学校によって実態は違うので、それも想定しながら、今言われたようなことが

できれば、これはもう非常にいいことだと思います。その手順は、その学校、今までの担任が頑張ってもらわないといけません。そこを頑張りきり、よしやるぞとできれば、その学校は非常に落ちついているし、先も夢があるでしょう。田代委員の発想はいいから、そういうような方法をお話してもらいたいと思います。

○教育長：私も気にとめて話をしてみましよう。これをもちまして、平成30年第2回筑紫野市教育委員会定例会を閉会いたします。